



THE INTERNATIONAL ASSOCIATION OF Y'S MEN'S CLUBS

REGION 9 WIZMENS CLUBS 国際協会西日本区
JAPAN WEST



YMCAサービス・ユース事業通信 第1号

2017年 8月26日発行

2017-2018年度 西日本区YMCAサービス・ユース事業主任

山川 新一（京都めいぷるクラブ）

事業主題 「YMCAと共に、ユースリーダーと共に

～今、ワイズにできること～

新しい期が始まると同時に夏へむけて各地のYMCAのキャンプ場では、子どもたちの安全で快適なキャンプ体験を楽しめる為に準備や開設のためのワークが行われている事でしょう。第1号ではそんな中から紹介します。

京都部 京都YMCAサバエ教育キャンプ場開設ワーク

7月2日、9日の2日間に渡り京都YMCAサバエ教育キャンプ場開設ワークが行われました。2日合わせて10クラブ130名を超えるワイズメンの協力により周辺の草刈り、ロッジの清掃、浜への機材出し、入場ゲートの作成、旗揚げポールの建込みとクラブ毎に分担して作業を進めました。各作業チームは担当ユースリーダーの指示の元、手際よく作業を進められました。私のチームは2名の女子リーダー



と一緒にでしたが、話を聞くと「毎年、キャンプリーダーとして参加していますが、ゲートもポールも元から建っているものと思っていました。毎年、ワイズメンの方がこんなに大勢で準備してくれているとは知りませんでした。」と話してくれました。素直な意見だと思います。毎年、多くのボランティアリーダーの中から、今年はたまたまこの二人と出会い一緒に作業をしました。そんなリーダーが一人でも多くどこか心の片隅にワイズメンズクラ

ブの事を留めてくれれば、ワイズメンとユースリーダーの絆となりそれが理解へと繋がるものと思っています。互いに汗を流し、知恵を絞って成し遂げた経験は立場を越えて理解するには十分な事業であると考えます。

第27回 アジア・太平洋エリアユースコンボケーション IN チェンマイ

今年は、AYCへ西日本区から4名の若者が希望を胸にタイのチェンマイへ飛び立ちました。今年は7月19日～23日の5日間の日程で行われ、熊本から木山エリイさん、内村うららさん、木本朱里さん、京都からは佐古田



ひかりさんの女性4名が参加しました。18日の朝、熊本からの3名は堤直前主任と共に福岡国際空港から、京都の佐古田さんは、関西国際空港からタイのバンコクへ。そこで合流してバンコクからチェンマイへと向かいました。チェンマイでは動物園へ行ったり、地元の小学校を見学したり、お互いの文化や習慣の違いを話し合ったりと多くの事を学びました。

今回のユースコンボケーションには、台湾から11名、マレーシアから5名、タイから8名、韓国から1名、東日本区から7名、西日本区から4名の合計

36名のユースが参加しました。そして、5日間の貴重な経験のなかで「違いは素晴らしいということ。」彼女たちは、お互いの違いを認めそれを素晴らしいと理解しました。今なお多くの国や社会でお互いの違いを認めら

れずに紛争や戦争、テロといった悲しい事件が起こる中、今、ユースコンボケーションの果たす役割は大きいと感じます。そしてお互いの立場を理解して交流と親睦を深めました。

後半は、アジア・太平洋エリア大会と合流して、ユースコンボケーションの報告とワイズメンとの交流を行い、有意義な5日間を終えました。希望と不安の入り混じった表情で飛び立った若者が、自信と夢を胸に帰ってくる様子は、ワイズメンである事に喜びを感じる瞬間でもあります。尚、今回のアジア・太平洋エリアユースコンボケーション in チェンマイの様子は、西日本区のホームページの“ユースの広場”に動画もアップしていますのでご覧ください。

来年2018年は、国際ユースコンボケーションの年で、開催地は、お隣り韓国のYEOSU（麗水）で行われます。2012年には万国博覧会も行われた風光明媚な土地でもあります。多くのユースのご推薦をお待ちしています。秋には、ご案内できると思いますので宜しくお願いします。

《お知らせ》

＜今後の予定＞

9月4日：	六甲部	Yサ事業委員の会	(神戸YMCA 三宮会館)
9月10日：	京都部	京都部会	(ウェスティン都ホテル京都)
9月16日：	阪和部	阪和部会	(ホテルパリタワ一天王寺)
9月17日：	西中国部	YYYフォーラム	(広島YMCA 雲月キャンプ場)
9月18日：	中部	中部部会	(金澤ニューグランドホテル)
9月24日：	六甲部	六甲部会	(神戸YMCA チャペル)

各部のYY(Y)フォーラム、チャリティーランが始まります。そして、各部の部会への参加も時間の許す限り参加して皆さんに紹介して参りたいと思っておりますのでその折にはどうぞ、宜しくお願いします。参加させて頂いた事業はまた、こちらの事業通信で随時報告してゆきますのでお楽しみにお待ちください。

＜Yサ・ユース献金＞

今期、目標献金額は2,000円/人となっています。人数の算定は期首(7月1日)の半年報記載人数です。この献金は、国際アレキサンダー奨学金や日本YMCA同盟実施の青少年育成プログラム、ユースコンボケーションに代表されるユースに対する活動支援、YY(Y)フォーラム支援金、各部、各クラブで行われるYMCAサービスプログラムの事業資金援助にあてられます。是非、皆さんの温かいご支援ご協力を宜しくお願いします。

＜お願い＞

皆さんのクラブで行われるYMCAサービスやユースの事業にお声かけください。

西日本区の各部、各クラブでは、今期も素晴らしい事業が数多く行われているものと思います。そんな事業に又は、事業の企画や立案にも積極的に協力致します。「最近、事業がマンネリ化してきたなあ。」とか「参加人数が減ってきたなあ。」とか「資金的に厳しくなったなあ。」とか事業を行う中で問題点に気づいたらお気兼ねなくご相談ください。今期、西日本区理事キャビネット、各主任の枠を越えて事業の活性化を図るためのお力になれるよう一緒に検討、提案してゆく準備がございませう。どうぞ、お待ちしております。

＜事業委員会＞

今期の西日本区Yサ・ユース事業委員会は下記の3名で努めて参ります。どうぞ、宜しくお願いします。

事業主任：	山川 新一	(京都めいぷるクラブ)
直前事業主任：	堤 弘雄	(熊本クラブ)
次期事業主任：	人見 晃弘	(大阪泉北クラブ)